

# 復興県民会議

被災者本位の一日も早い復旧・復興を

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル 5F いわて労連内

☎ 019-625-9191

FAX 019-654-5092

eメール fukkou\_ikg@fukkoukaigi.jpn.org

No.34 (2016/12/9)

## がんばれ、山田町!



大沢地区の県営災害公営住宅

宅地造成工事も年内に山田地区を除く全5地区で完了する予定とのこと。遅れていた山田町中心部である山田地区は、かさ上げ・土地基盤整備、国道45号線の本設やJR線の復旧工事などで、「工事中」「進入禁止」「この先行き止まり」「〇〇方面、△△方面」看板が林立していて、文字通り「新しい街の建設」である。国道45号沿いにあったボロボロになったままの商店と色あせた3階建てのカラオ

### 姿が見えはじめた山田町中心部

12月1日県内最大規模でもある山田町営災害公営住宅「山田中央団地（146戸）」の入居が始まった。鉄筋コンクリート6階建て2棟・5階建て1棟の3棟。JR山田線の山田駅や駅前に開店したばかりのスーパーなどに近い。付近では鉄路の復旧、駅前整備、住宅や商店街などの路盤整備が急ピッチで進んでいる。町当局によれば、既に豊間根、大沢、柳沢、織笠、大浦の5地区は完成・入居し、2018年度には計画戸数が全て完成するとのこと。また、高台移転の



JR山田駅 左手・駅前広場 右手・鉄路地盤

ケ館がランドマークで、5年前の焼け焦げた跡が広がる津波で壊滅した無惨な姿は無い。

一日も早い復旧、公営住宅へのスムーズな引っ越し、仮設住宅入居者への支援、生業の再建に頑張る住民への行政の適切な応援を願わずにはいられない。写真を撮りながら、「がんばれ、山田!」と叫んでいた。

(復興宮古・下閉伊住民会議準備会事務局 前川昌人)



被災後改修した北浜町営住宅(1Fは倉庫などに活用)

# 医療費免除継続、内陸部に災害公営291戸

9月県議会は、46年ぶりの国民体育大会の開催のため、例年より一ヶ月遅れで10月27日から11月25日まで開催されました。

○東日本大震災津波の被災者医療費・介護保険利用料等の免除措置は2017年12月まで継続されることとなりました。

○内陸部への災害公営住宅の整備が6市7地区に291戸整備する方針が示されました。

**台風10号災害でも、大震災並みの支援実現。住宅再建に200万円の独自補助**

○岩手県は702億円の補正予算を計上。商工業者へは上限2000万円の「地域なりわい再生緊急交付金」（10億9500万円）を措置しました。県独自の対策としては大震災並みの補助です。

○台風10号被災者の医療費・介護保険利用料等の免除措置も久慈・岩泉・宮古の3市町で実現する方向が示されました。これは画期的なことです。

○上記3市町では、住宅再建でも独自に200万円の補助を実現しました。

○国の小規模事業者持続化補助金（上限100万円、補助率2／3）や革新的ものづくり商業サービス開発支援事業（上限3000万円、補助率2／3）も台風被害からの再建に活用できることが確認されました。

## ご支援ありがとうございます

台風10号の被災者救援カンパは、2,383,403円（12／8現在）が寄せられ、10月に3市町に50万円ずつお届けしました。（既報）

引き続き、12月末までに他の被災市町村を訪問してお届けしたいと考えています。

## お知らせ

- ①被災者生活再建支援金を300万円から500万円に引き上げるための野党4党共同提出の改正案の動向について12月9日に全国災対連と野党国会議員との懇談会が開催されます。
- ②「東日本大震災津波から6年のつどい」は、復興県民会議で日程協議してからお知らせします。
- ③原発をなくす全国連絡会の「とめよう原発再稼働、かえよう福島切り捨て政治」新聞意見広告と「ふくしま100万人署名」（新署名）のご協力をよろしくお願いいたします。